



コンパクト クロスオーバー登場!

マイルドハイブリッド + デュアルジェットエンジン

イグニス

2015年の東京モーターショーに参考出展され、多くの人が注目した「スズキ・イグニス」が早くもデビュー。

コンパクト・クロスオーバーという新たなジャンルのイグニスは、日本の道でもあつかいやすいサイズながら、力強く存在感のあるスタイル、悪路や雪道にも強いロードクリアランスなど、心躍らせる要素に満ちている。さらにマイルドハイブリッドの低燃費、1台ですべてをこなせる優れたパッケージング、そして最新技術を惜しみなく投じた先進安全性能に加え、ユーザーフレンドリーな機能も充実。日常をともに過ごしながら、ロングドライブやレジャーシーンではワンランク上のポテンシャルを発揮してくれるイグニス。その魅力に迫ってみよう。



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

SUZUKI

新型
イグニス

特集号



IGNIS DEBUT



JCO8モード燃費 28.8km/ℓ (HYBRID MG 2WD)

文/田畑修(モータージャーナリスト) 写真/奥隅圭之

HYBRID MZ

IGNIS 全方位の安全性を確保

安心の4WD機能

コンパクト・クロスオーバーのポテンシャルをさらに引き出せる4WD車も用意される。前後輪に最適な駆動力を配分できるビスカスカップリング式を採用し、シンプルかつ軽量なシステムにより走破性能と低燃費を両立。エンジンブレーキだけでは減速できないシブーンや、ブレーキペダルでの車両コントロールが難しい急な下り坂などで威力を発揮するヒルディセントコントロール機能も装備し、ONにすると速度が自動的に7km/hに制御され、ドライバーはステアリング操作に集中することができる。また雪道やぬかるみなどで発進が難しいとき、エンジン出力を自動制御するとともにブレーキを効果的に作動させるグリップコントロールも装備。条件の悪い路面で発進不能となることを防いでくれる。



充実の安全装備

先進の安全装備に関しても抜かりはない。ステレオカメラで前方の車両や歩行者を検知し、衝突回避または被害軽減を図る「デュアルカメラブレーキサポート」は、危険を察知するとまず警告を発し、それでもドライバーが対応しない場合は自動ブレーキをかけて被害を軽減。さらに万一の急発進を防ぐ誤発進抑制機能、車線から外れそうときに警告する車線逸脱警報機能、ふらつき警報機能といった予防安全システムも設定、最新テクノロジーで安全運転を支援してくれる。他にもSRSサイドエアバッグ、カーテンエアバッグなどを備えるセーフティパッケージや全方位モニター付メモリーナビゲーションが用意される。新プラットフォームなどによる高い安全性に加え、より手厚い安全性能を誇っている。



全方位モニター説明図



イグニス主要諸元表	HYBRID MG		5ドア HYBRID MX		HYBRID MZ	
	2WD(前2輪駆動)	フルタイム4WD	2WD(前2輪駆動)	フルタイム4WD	2WD(前2輪駆動)	フルタイム4WD
駆動方式						
トランスミッション	JCO8モード		CVT			
JCO8モード燃料消費率(km/ℓ)	28.8	25.4	28.0	25.4	28.0	25.4
エンジン型式	K12C型		K12C型		K12C型	
エンジン総排気量(ℓ)	1,242		1,242		1,242	
種類	水冷4サイクル直列4気筒		水冷4サイクル直列4気筒		水冷4サイクル直列4気筒	
エンジン最高出力(ネット)(kW<PS>/rpm)	67(91)/6,000		67(91)/6,000		67(91)/6,000	
エンジン最大トルク(ネット)(N・m<kg・m>/rpm)	118(12.0)/4,400		118(12.0)/4,400		118(12.0)/4,400	
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン		無鉛レギュラーガソリン		無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量(ℓ)	32	30	32	30	32	30
モーター型式/種類	WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機	
モーター最高出力(kW<PS>/rpm)	2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000	
モーター最大トルク(N・m<kg・m>/rpm)	50(5.1)/100		50(5.1)/100		50(5.1)/100	
動力用主電池種類	リチウムイオン電池		リチウムイオン電池		リチウムイオン電池	
全長×全幅×全高(mm)	3,700×1,660×1,595		3,700×1,660×1,595		3,700×1,660×1,595	
ホイールベース(mm)	2,435		2,435		2,435	
トレッド 前/後(mm)	1,460/1,470	1,460/1,460	1,460/1,470	1,460/1,460	1,460/1,470	1,460/1,460
最低地上高(mm)	850	890	880	920	880	920
車両重量(kg)	880		880		880	
最小回転半径(m)	4.7		4.7		4.7	
室内寸法(mm)	長 1,945		長 1,365×1,250		長 1,365×1,250	
乗車定員(名)	5		5		5	
ステアリング	ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式	
サスペンション	前	マクファーソンストラット式コイルスプリング	前	マクファーソンストラット式コイルスプリング	前	マクファーソンストラット式コイルスプリング
	後	トーションビーム式コイルスプリング(2WD車)、I.T.L.(インテリジェント・トーション・リンク)式コイルスプリング(4WD車)	後	トーションビーム式コイルスプリング(2WD車)、I.T.L.(インテリジェント・トーション・リンク)式コイルスプリング(4WD車)	後	トーションビーム式コイルスプリング(2WD車)、I.T.L.(インテリジェント・トーション・リンク)式コイルスプリング(4WD車)
ブレーキ 前/後	ベンチレーテッドディスク/リーディング・トレーリング		ベンチレーテッドディスク/リーディング・トレーリング		ベンチレーテッドディスク/リーディング・トレーリング	
タイヤサイズ	175/65R15 84H		175/65R15 84H		175/60R16 82H	

*燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、交通渋滞等)や、運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *オプション装着によっては車両重量、燃料消費率などが異なります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



SUZUKI IGNIS IGNIS IGNIS IGNIS IGNIS

コンパクトカーの域を超えたインテリアデザイン

専用デザインのインパネ回りや、アクセントカラーを配したインテリアパネルなど、運転する楽しさを倍増してくれるインテリアもイグニスの特筆できるポイントだ。メーターやオーディオパネルをあえてインパネと一体化させずに独立配置し、左右のエアコンルーバーやUSBソケットなどを円筒形として未来的なイメージを演出。エアコン操作パネルも横置き円筒をモチーフとするなど、デザイン性と使い勝手のよさを両立させている。上部がブラック、下部をホワイトとした大胆なカラーリングに加え、ピアノブラック調のパネルとサテンメッキを組み合わせたリ、センターコンソールに高輝度塗装を施すなど質感にもこだわり、コンパクトカーの域を超えた仕上がりとなっている。



コンパクトボディながら室内スペースを十分に使いこなす 数々の工夫がなされている点にも注目したい

ユーティリティとアップルカープレイ

荷室容量はスライド可能なリアシートを一番後ろにした状態では133ℓだが、一番前に出せば258ℓと倍近いスペースを得られ、さらにリアシートをたためば415ℓまで拡大。リアシートスライドは左右独立なので、積みたい荷物に合わせてアレンジできるのも嬉しい。また車内の収納スペースも充実しており、ボックスティッシュがそのまま入るグローブボックス、600mlのペットボトルが置けるセンターコンソール、A4ファイルサイズが収納できるドアポケットなど細かい配慮が行き届いている。インパネのセンターに置かれる7インチディスプレイは、カーナビゲーションや車両の周囲を映し出す全方位モニターに加え、Apple CarPlayにも対応。iPhoneアプリとの連携なども可能としている。



イグニスは全グレードに「マイルドハイブリッドシステム」を備えた「デュアルジェットエンジン」を搭載。

マイルドハイブリッドとデュアルジェットエンジンで28.8km/ℓ

デュアルインジェクションを採用し、12.5の高圧縮比を可能とした1242ccのK12C型デュアルジェットエンジンは、それだけでも軽快な走りを楽しむことができる。さらにLSG(モーター機能付き発電機)のアシストにより一段とパフォーマンスアップが図られている。減速時の回生エネルギーを専用リチウムイオンバッテリーに蓄え、発進から約100km/hまで最長30秒間のモーターアシストにより燃料の消費を抑制。JC08モード燃費28.8km/ℓ(HYBRID MG 2WD)の低燃費を実現している。また、停車前の減速時は13km/h以下になるとエンジンを自動停止させて燃料消費を抑え、そのアイドルストップからの再始動もこのLSGが受け持ち、同乗者が気づかないほどスムーズで振動の少ない始動をこなす点も見逃せない。完成度の高いパワーユニットといっていだらう。

軽量・高剛性のプラットフォーム

新たに設計された小型専用プラットフォームを採用し、高い剛性、軽量化、室内空間の確保といったファクターを一段と向上させたイグニス。レイアウトを全面刷新したアンダーボディは剛性アップにより静粛性や衝突時の安全性能を高め、ボディは高張力鋼板の使用率を50.1%まで高めて剛性を確保。また、シートフレームをプラットフォームの一部として開発し、前席シートフレームにも超高張力鋼板を使って軽量化を図っている。サスペンションもプラットフォームに合わせて新設計し、横剛性を高める一方で自然なロールスピードを感じられる方向で減衰特性をセッティング。クロスオーバー車ならではの走破性を犠牲にせず、しなやかで乗り心地を損なわない足回りとしている。



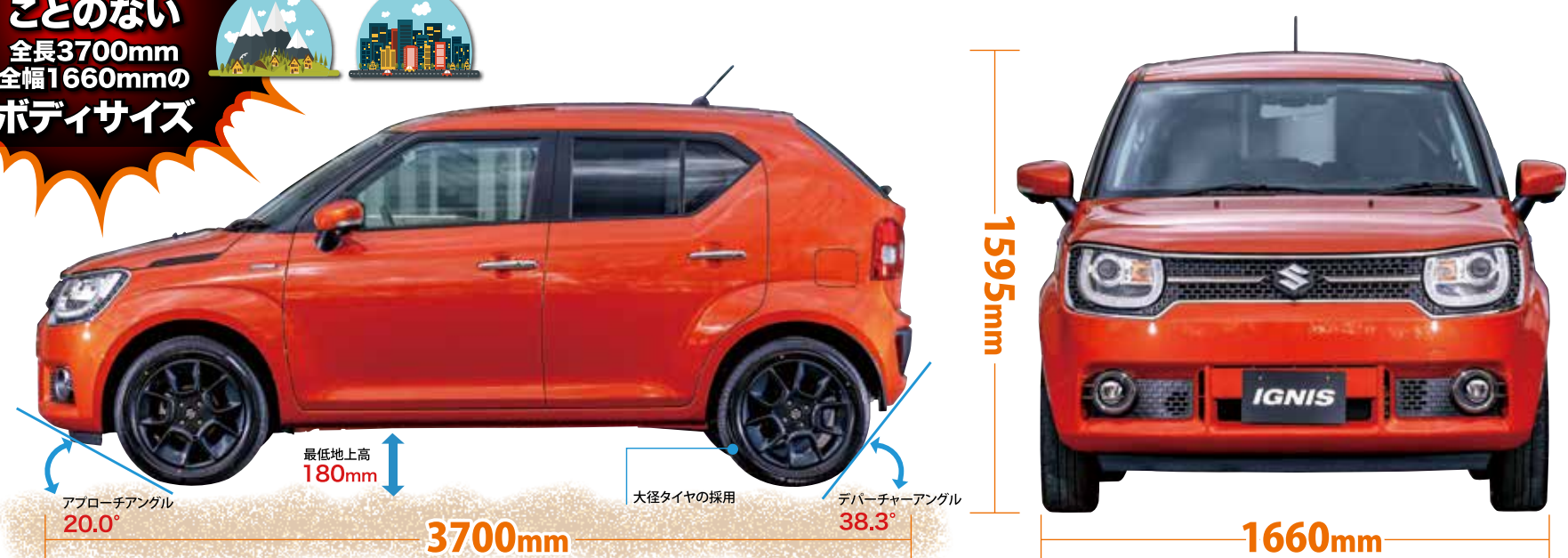
ブラック 2トーンルーフ 5色



ノーマルカラー 8色

街中や狭い林道などでも持て余すことのない 全長3700mm 全幅1660mmのボディサイズ

車庫入れやUターンも苦にならない4.7mの最小回転半径など、コンパクト・クロスオーバーならではのメリットが光るイグニス。



180mmの最低地上高が確保されているので、荒れた道や積雪路などでの安心感が高い。一方で室内に目を移すと、新プラットフォームの採用やエンジンルームを小さく設計することで居住空間は予想以上に広く、前後席ともにゆったりとしたスペースが確保されている。また、リアシートが左右独立で165mmもスライドする構造のため、必要に応じて荷室スペースをぐんと広げることが可能。人と荷物をうまくシェアしながら利便性を高めることができる優れたアイデアだ。



開発者の声 スズキ 四輪デザイン部 エクステリア課 新居 仁さん

スズキ 第四カーライン アシスタントCE 小岩 信さん

シンプルで特徴のあるスタイリング

シンプルで2BOXスタイルながら、目ヂカラを感じさせるフロントデザイン。大きく張り出した前後フェンダー、丸く膨らんだルーフラインなど、ひと目でイグニスと分かるアイコンック(わかりやすく特徴的)なプロポーションが新鮮だ。また、今までのスズキ車に採用されてきた特徴のあるデザインが各所に散りばめられているところも興味深い。エスクードで採用されたボンネットフード側面のガーニッシュや、往年のフロントクーペから受け継いだCピラーのエアアウトレット風の造形などがそれに当たるが、こうした遊び心が最新のクロスオーバースタイルに華を添えている。やや高めな車高と16インチアルミホイールのマッチングもよく、13色の豊富なボディカラーや仕上げのよさが織りなす質感の高さも見逃せない。

年齢層は限定せず、若者からシニア世代まで、アクティブな生活を楽しんでいる方に乗っていただけるクルマを目指しました。Aセグメントのクロスオーバーという新たなジャンルを開拓しました。ボディのスタイリッシュなイメージ、欧州車の雰囲気、スズキの名車のモチーフを取り入れたところなどを感じていただきたい。試乗いただければ、アイポイントの高さは運転のしやすさにつながり、ボディサイズ以上の室内空間を実現できると思います。都市部での日常の使い勝手から、ちょっとした悪路や雪道など、趣味のクルマとして、ドライバーが使い勝手を工夫できるクルマだと自信を持ってお届けします。

ENGINEER'S VOICE

